

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 活用事業一覧(令和3年度)

(単位:円)

番号	補助/単独	事業名	事業内容	事業始期	事業終期	総事業費	国庫補助額(臨時交付金以外)	臨時交付金充当額	実施状況	効果検証
1・23	単独	PCR・抗原検査費用の助成	医療機関、介護施設、障がい者施設、学校などで感染者・濃厚接触者が発生した場合に、行政検査の対象とならなかった場合で、その周辺の方が検査を行ったときに費用を助成(施設等が支払った経費について、PCR検査2万円、抗原定量検査7,500円を上限に助成)	R3.5	R4.4	8,568,424	—	6,939,000	助成件数 58件	感染者・濃厚接触者が発生した場合に、費用を助成することで状況を的確に把握し、利用者の不安を軽減することができた。
2	単独	抗原検査キットの備蓄	感染者や濃厚接触者が判明した事業所等へ抗原検査キットを提供し、事業継続を支援。また、非常時では避難所等でも活用	R3.6	R4.2	2,505,735	—	2,102,000	抗原検査キット購入数 1,999個 抗原検査キット配付数 1,437個	感染者・濃厚接触者が発生した場合に、キットを提供し的確に把握し、事業者の不安を軽減することができた。また、避難所において、R4.8大雨発生時にも活用した。
3	単独	新生児特別給付金	特別定額給付金の対象外となっているR2.4.28以降に出生した新生児について、コロナ禍が長期化している現状を踏まえ、R3年度についても継続し、新生児特別給付金を支給し、子育てを応援(R3.5.1以降については、おなかの赤ちゃん特別給付金へ移行)	R3.4	E3.8	3,550,000	—	3,479,000	支給実績 71人分	コロナ禍が長期化する中の妊娠・出産という不安や、追加的な感染症対策等により、経済的・精神的な負担が生じており、給付金により負担の軽減につながった。
4・5・22	単独	おなかの赤ちゃん特別給付金費	コロナ禍が長期化しているなかで妊娠し出産しようとするお母さんに対し、おなかの赤ちゃん特別給付金を支給し、出産を応援するとともに、母子の感染症対策に要する経費を支援	R3.5	R4.4	55,750,000	—	54,635,000	支給実績 1,115人分	コロナ禍が長期化する中の妊娠・出産という不安や、追加的な感染症対策等により、経済的・精神的な負担が生じており、給付金により負担の軽減につながった。
6	単独	こまつ子育て応援特別給付金	新型コロナウイルスワクチン接種の対象外(R3.5.1現在)である子どもについて、4月にまん延防止等重点措置が石川県に発令されコロナ収束が見通せないなかで、日常の感染症予防に要する経費や、学校外活動においてのコロナ対策追加費用を支援するため、こまつ子育て応援特別給付金を支給	R3.5	R3.12	170,639,467	—	167,226,000	支給実績 16,952人分	コロナ禍が長期化する中の妊娠・出産という不安や、追加的な感染症対策等により、経済的・精神的な負担が生じており、給付金により負担の軽減につながった。
7	単独	高齢者食生活支援特別給付金	コロナ禍での外出自粛・生活不活発による高齢者のフレイル(虚弱)進行が問題となっており、フレイル防止の3要素(運動・栄養・社会参加)のうち栄養(食)に着目し、特に食生活が偏りがちになる低所得世帯に統一、食生活改善へ支援。フレイル予防により要介護への進行を遅らせる	R3.5	R3.11	79,307,117	—	73,302,000	支給実績 7,780人分	コロナ禍が長期化する中で、経済的・精神的な負担が生じており、給付金により食の健康を確保し負担の軽減につながった。
8・21	単独	事業継続支援金	コロナ禍が長期化するなかで、市内で事業を営む中小企業及び個人事業主(全業種)の事業継続を支援するため、売上が大きく減少した事業者等に支援金を支給。(R2年1月～12月)の連続する3ヶ月の売上が50%以上減少している事業者等に中小企業40万円、個人事業主20万円の支援金)	R3.5	R3.11	323,400,000	—	316,845,000	支給件数 1,160件	コロナ禍が長期化する影響により売上が大きく減少した中小企業・個人事業主の事業継続を支援した。
9	単独	飲食店感染症対策支援金	4月にまん延防止等重点措置が石川県に発令されたことから、今一度、飲食店感染症対策を強化するため、支援金を支給(市内で飲食店を営む中小事業者及び個人事業者(県内に本社・本店を有する者の感染症対策備品・施工に対し5万円(消耗品は1万円まで)	R3.5	R4.1	10,700,000	—	8,667,000	支給件数 214件	コロナ禍の影響が特に大きい飲食業が感染症対策を行う費用の一部を助成し、安全に利用できる環境づくり、事業継続の一助となった。
10	単独	プレミアム付き商品券発行	コロナ禍で売り上げが減少している市内中小事業者への支援や、市の消費を喚起するため、プレミアム率100%の商品券を発行。今後の発展や非接触を踏まえデジタルチケットで発行(1冊1,000円×5枚の5,000円分の商品券を2,500円で販売。1人世帯は1冊、2人以上世帯は2冊まで購入可能)	R3.7	R4.2	103,818,884	—	98,627,000	消費喚起額 176,996,634円 使用率 97.94%	市内店舗での消費喚起とキャッシュレス推進による電子決済を推進することができた。
11	単独	救急隊員の感染症予防	コロナ禍の救急業務にて追加で必要となる消耗品等の購入及び防護衣による救急隊員の熱中症対策を実施(感染防止対策用消耗品(防護衣・アイソレーター用フード等)を購入、防護衣着用による隊員の熱中症対策として冷却ベスト・保冷剤用冷凍庫を購入)	R3.7	R4.3	3,883,850	—	3,689,000	○救急活動用 感染防止衣、保冷材用冷凍庫、冷却ベスト、アイソレーター用フードカバー	救急隊員の感染対策により、隊員の感染リスク及び熱中症リスク低減・安定的な救急体制の維持につながった。また、車内の消毒時間の短縮にも繋がり、夏場の隊員の熱中症発生はなかった。
12・24	単独	事業者への支援(飲食店等)	コロナ禍において需要の減少や、感染症対策に追加の費用を要するなかで、空き店舗等を活用し飲食店等を開業しようとする中小事業者(個人事業者を含む)に対し、店舗改修費等の一部を補助 対象:飲食業、小売業、サービス業 補助率:1/2 上限額1,000千円 ※県内に本店・本社を有する場合に限る。	R3.7	R4.4	3,937,000	—	3,543,000	支給件数 4件	コロナ禍が長期化する中で新たな感染対策が必要になる飲食店や空き店舗を活用しようとする中小事業者・個人事業主を支援した。

番号	補助 /単独	事業名	事業内容	事業始期	事業終期	総事業費	国庫補助額 (臨時交付金以外)	臨時交付金充当額	実施状況	効果検証
13	単独	音楽・スポーツ大会開催支援事業	感染症の影響が長引くなか、青少年の音楽・スポーツ大会において感染症対策による追加費用が発生していることから、大金の開催費を助成(大会に係る会場費、委託料等を対象に、経費の2/3を補助)	R3.7	R4.3	1,373,000	—	1,235,000	大会開催支援 10件	音楽・スポーツ大会を開催する上で必要な感染症対策を支援することで安心して開催を実施でき、各種活動への意欲向上が図られた。
14	補助	文化芸術振興費補助金 (文化施設の感染拡大予防・活動支援 環境整備事業)	【国庫補助事業】ひととものづくり科学館における空気清浄機の配置、客席等の抗菌施工、体験教室等の配信対応など、コロナ禍におけるガイドラインを踏まえた感染症防止対策を推進	R3.4	R4.1	3,792,550	1,895,000	1,518,000	客席等コーティング処理、ウイルス除去用空気清浄機、4K配信機器、公金ゲート、大型ディスプレイ、オンライン用教材の整備	感染症に係る文化施設等のガイドラインを遵守し、活動の継続を図ることができた。
15	単独	飲食店等支援金	金沢市を対象としたまん延防止等重点措置及び小松市独自で行っている緊急行動期間を含め、長期間にわたりコロナ禍の影響を受けている業種である飲食店及び飲食業と取引のある関連業者、交通関係事業者に対し支援金を給付(R2年(1月～12月)の連続する3ヶ月の売上が30%以上減少している飲食店及び飲食関連事業者、交通関係事業者へ20万円の支援金を給付)	R3.9	R4.3	87,800,000	—	86,044,000	支給件数 440件	コロナ禍の影響が特に大きく受けた飲食業及び飲食業・関連業者、交通関係事業者を支援し、事業継続の一助となつた。
16	単独	宿泊・観光施設支援金	GoToトラベルや県民宿泊割の停止により大きな影響を受けている宿泊業、観光施設へ事業継続への支援金を給付(30万円を基本に規模等により加算(観光施設は一律50万円))	R3.9	R4.1	16,418,000	—	13,298,000	支給件数 28件	新幹線開業を控え観光・宿泊業の事業継続は重要であり、事業継続の一助となつた。
17	補助	文化芸術振興費補助金 (文化施設の感染拡大予防・活動支援 環境整備事業)	【国庫補助事業】こまつ芸術劇場において文化庁補助を活用し、多くの来館者が滞在する区域の空調設備等を改修	R3.10	R4.3	11,165,000	5,582,000	4,466,000	「芸術劇場うらら」の空調設備改修の実施	感染症に係る文化施設等のガイドラインを遵守し、活動の継続を図ることができた。
18	補助	文化芸術振興費補助金 (文化施設の感染拡大予防・活動支援 環境整備事業)	【国庫補助事業】小松市立博物館において、感染症対策備品の購入及び新たな日常に必要となる配信用動画制作、イベント配信、遠隔レファレンス対応のための機器を購入	R3.12	R4.1	276,430	138,215	110,000	配信のために必要な機器を整備し配信用動画制作、イベント配信の実施	感染症に係る文化施設等のガイドラインを遵守し、活動の継続を図ることができた。新たな生活様式を見据えイベントの企画実施することができた。
19	補助	文化芸術振興費補助金 (文化施設の感染拡大予防・活動支援 環境整備事業)	【国庫補助事業】宮本三郎美術館において文化庁補助を活用し、多くの来館者が滞在する区域の空調設備等を改修及び衛生対策消耗品を購入し、感染症対応を強化	R3.7	R3.12	6,270,000	3,135,000	2,508,000	空調設備改修、感染症対策の強化	感染症に係る文化施設等のガイドラインを遵守し、活動の継続を図ることができた。
20	単独	セミセルフレジ導入	市民との現金の受け渡しの非接触化による感染症への対応及び自動計算による業務の効率化のため、住民窓口と税務窓口にセミセルフレジを導入	R3.10	R3.12	3,059,760	—	2,906,000	セミセルフレジ 2台導入	非接触化による感染症対策を実施し、市民の不安軽減、また業務の効率化による待ち時間の軽減で利便性の向上につながった
小計 (No.1～No.24)						896,215,217	10,750,215	851,139,000		

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 活用事業一覧(令和3年度)

(単位:円)

番号	補助/単独	事業名	事業内容	事業始期	事業終期	総事業費	国庫補助額 (臨時交付金以外)	臨時交付金充当額	成果目標	実施状況	効果検証
25	単独	GIGAスクールタブレットのオンライン家庭学習対応	コロナ感染症による学校の休校等の場合で家庭でのオンライン授業対応や、夏休み等の長期休暇でも家庭にてGIGAスクールタブレットによる学習を進めるため、家庭でタブレットを充電できるようACアダプタを整備	R4.1	R4.6	22,598,576	—	11,299,000	R4夏休みにおける家庭でのタブレット端末活用率100% R4夏休みでは全児童生徒が家庭でタブレット端末活用	整備数 8,632台	1人1台タブレット端末配備をしており、休校・長期休暇期間でも家庭からタブレットの利用ができるようになり生徒のICT能力の向上につながった。 目標達成率 100%
26	単独	中学校修学旅行キャンセル料負担	コロナ感染症により中止となった中学校の修学旅行キャンセル料を市が負担することで、保護者の負担軽減	R3.10	R3.10	3,871,301	—	3,793,000	コロナ影響による保護者追加負担 0円	キャンセルにおける保護者負担なし	感染症流行という不可抗力において、保護者の負担を求めることがなくキャンセル対応を行うことができた。 目標達成率 100%
27	単独	事業復活強化支援金	国の事業復活支援金を受給した事業者に対し本市独自の追加支援(全業種) 売上50%以上減少 個人10万円、法人20万円 30%以上50%未満減少 個人6万円、法人12万円	R4.2	R4.10	289,680,000	—	154,209,000	支援件数 2,500件	支援件数 2,271件	コロナ禍が長期化する影響により売上が大きく減少した中小企業・個人事業主の事業継続を支援した。 目標達成率 91%
28	単独	いしかわ新型コロナ対策認証制度推進支援金	アフターコロナを見据え事業活動と感染予防対策の両立を目指し石川県の「いしかわ新型コロナ対策認証制度」の認証及びその継続を推進するため、認証を受けた店舗に支援金を支給(1店舗当たり5万円)	R4.2	R4.10	16,000,000	—	11,717,000	支援件数 600件	支給件数 295件	コロナ禍が長期化する影響により売上が大きく減少した飲食店・店舗の事業継続を支援した。 目標達成率 49%
29	単独	農業者稻作支援	外食需要の落ち込み等の影響により大幅に米価が下落し農業者が大きく影響を受けていることから、来年度への作付け継続を促すため作付に必要な苗代の一部を助成(R4米作付け面積10アール当たり2,250円の支援金(標準的な苗代の25%相当))	R4.2	R4.5	64,076,195	—	51,992,000	R4作付面積 前年度比100%以上	対象者650人 作付面積R3:2,947ha R4:2,936ha	コロナ禍が長期化する中で、農業者の事業継続を支援した。作付面積は若干低下したものの、米価下落が非常に大きかった中で作付け継続への効果は一定程度あったと考える。
31	単独	感染症による自宅療養者支援	オミクロン株の流行により自宅療養者が増加しているなかで他に支援を受けられず買い物に困っている療養者に対し買い物代行サービスを提供(買い物代行サービス手数料(4千円程度)及び事業者への初期費用)	R4.1	R5.3	240,020	—	131,000	利用300回	利用回数 61件	想定の利用者からは下回ったもののサービスを利用する人にとっては生活するうえで支援が必要としている問題であり、コロナ感染により買い物に出れず困っている療養者の買い物代行サービスを実施することで感染者の療養環境を整え不安軽減につながったと考える。
32	補助	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業)	【国庫補助事業】国補助を受けて小中高等学校に対する学校活動継続へ向けた物的体制を整備(オンライン授業等に必要な情報周辺機器などの物的体制の整備を学校の判断において迅速かつ柔軟に実施)	R3.11	R4.3	4,250,000	2,125,000	1,912,000	全学校にオンライン授業等に必要な情報周辺機器を整備	全学校(33校)に整備済	オンライン授業対応のための機器整備、感染症対策の物的体制の整備により学校教育活動の継続を測ることができた。
33	補助	地域女性活躍推進交付金(つながりサポート型)	【国庫補助事業】転勤により本市に転入される方や子育て、介護、病気、障がい等により、地域のコミュニティとの接点が少ない女性は、社会からの孤立しやすく不安を抱えている。 このような女性が、地域等のつながりができるように、気楽に立ち寄ることができる女性のための相談窓口の設置や、寄り添いながら支援するための居場所をづくり、行政だけでは手の届きにくい支援を関係機関と連携して実施するもの。また、相談支援を行う人材の養成などをを行い継続可能な体制を築いていく。 (女性のためのオンライン相談やビアサポートのための居場所づくりの設置のための経費(NPO法人への委託料))	R3.11	R4.3	2,736,000	2,052,000	615,000	・開催回数 8回 ・参加者(延べ) 40人	・開催回数 14回 ・参加者(延べ) 108人	コロナ禍が長期化する中で不安を抱えている女性を支援することで、不安軽減につながった
小計 (No.25～No.33)						403,452,092	4,177,000	235,668,000			
合計						1,299,667,309	14,927,215	1,086,807,000			

※ No.30「泊まろう！こまつ宿泊応援割」については、国のGoToトラベルと切り離して市単独で行ったため、交付金は充当しなかったことから除外しています。